

日本学術会議
フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会(第25期・第4回)
議事要旨

日 時:令和3年12月19日(日)16:00-17:00

会 場:オンライン開催(Zoom)

出 席:(分科会委員)氷見山幸夫、小金澤孝昭、丹羽淑博、小林亮、春日文子、山形俊男、山口しのぶ、小田宏信、日置光久、鈴木康弘;(オブザーバー)嵩倉美帆、石原靖久

欠 席:窪川かおる、谷口真人、福士謙介

資料1:第3回分科会議事要旨

資料2:持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会名簿

資料3:海の学びカリキュラム小委員会名簿

資料4:ESD, SDGs カリキュラム小委員会名簿

資料5:日本学術会議主催学術フォーラム企画案募集について

資料6:日本学術会議主催学術フォーラムの選定及び実施について

議題

1) 分科会の前公開ワークショップについて

- ・盛会裡に終了したことを確認。外部からの申し込み者42名。

2) 学術フォーラムの申請について

- ・6月に実施することを再確認し、申請書案の最終的取りまとめと親委員会への提出は委員長に一任することとした。
- ・親委員会には連絡する。他分科会と共催にするかどうかは要検討。
- ・生徒の参加を促したい。
- ・カラフルな実践例、子供の視点、子供の言葉を入れたい。
- ・気候変動教育をどう伝えるか。社会を変えるとどのようなことを考えさせたい。
- ・本日のWSで紹介された、子供達から「何とかしなければ」という声があがり、SDGsの活動が自信につながったという展開が印象的。子供の主体性に焦点を当てたい。
- ・フォーラムの申請書の内容について、12/26までに委員全員がメールで意見を提出し、速やかに意見交換と取りまとめを進めることとした。

3) 次回分科会について

- ・2月21日 15:00から分科会。その前後に小委員会開催。

4) 分科会に関する国際的・国内的動向

- 学術会議に IYBSSD、カーボンニュートラル、パンデミックに関する連絡会議が設置された。
- ”Curiosity driven science“, ”Science for society” と FE の関係が重要。
- SRI2022 (Sustainability Research & Innovation Congress 2022、June 20-24, 2022) に日本語でもセッションプロポーザルを出せる(2月 5 日締め切り)
- COP 26 が開催された。人材育成の重要性から、国連大学は 2023 年に向けてパリ協定に特化した専門コースを設置。
- 11 月に国連の「教育の未来」のグローバルレポート“Transformative Education”がまとまった。

5) その他

- とくになし。